

「関係機関のチーム支援による福祉的就労から一般雇用への移行の促進」事業

平成22年8月

職業安定局障害者雇用対策課(山田 雅彦課長)

1. 施策体系上の位置づけ

基本目標Ⅳ 経済・社会の変化に伴い多様な働き方が求められる労働市場において労働者の職業の安定を図ること

施策大目標3 労働者等の特性に応じた雇用の安定・促進を図ること

施策中目標3-1 高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること

施策小目標1 定年の引上げ、継続雇用制度の導入等による高齢者の安定した雇用の確保を図ること

2. 事業の概要

(1) 実施主体

国(労働局、ハローワーク)

(2) 概要

ハローワークに求職登録している障害者に対して、地域の関係機関と連携して、就職に向けた準備から職場定着までの一連の支援を行う「チーム支援」を推進することにより、マッチング機能等の充実強化を図り、障害者の雇用促進を図る。また、障害者雇用施策と障害者福祉施策、特別支援教育との連携を一層強化し、福祉施設、特別支援学校に対して、一般雇用や雇用支援策に関する理解の促進と就労支援の取組の強化を働きかけるため、就労支援セミナーの実施、事業所見学会の実施、職場実習のための事業所面接会の実施、障害者就労アドバイザーによる助言を実施している。

3. 事後評価の内容（必要性、有効性、効率性）

(1) 有効性の評価

経済不況などの影響から平成19年から平成21年のハローワーク全体の障害者の就職件数が減少しているにもかかわらず、同時期内のチーム支援による就職者数は増加し、ハローワークにおける障害者の就職者数に占めるチーム支援による就職者数は年々増加していることから、チーム支援等の取組が福祉施設等を利用する障害者の就職に対し有効であると評価できる。

(2) 効率性の評価

障害者の求職者に対して、地域の関係機関が連携して、就職に向けた準備から職場定着までの一連の支援を行うことにより、障害者個々の障害特性に応じたきめ細かな支援を段階的・計画的に実施することができ、マッチング機能がより効果的に発揮されることから、障害者の雇用促進を図る効率性は高いものと期待される。

また、福祉施設等の利用者以外の障害者も対象とした平成 20 年度以降は、支援対象者 1 人当たりの費用及び就職者 1 人件当たりの費用が低下しているところであり、効率的な事業となっている。

(3) 政策等への反映の方向性

チーム支援の推進により、障害者の雇用促進は着実に進展しているもの、障害者の社会参加が進展する中、障害者の就業に対するニーズが高まってきており、新規求職者数、有効求職者数は依然として高い水準にあり、障害者の求職者に対するきめ細かな相談、職業紹介等を実施するため、引き続き本事業を継続する必要があることから平成 23 年度予算概算要求において、所要の予算を要求する。

(概算要求額：547百万円)

4. 評価指標等

指標と目標値（達成水準／達成時期）						
アウトカム指標		H17	H18	H19	H20	H21
1	「チーム支援」による障害者の就職者数			1,778	5,202	6,354
	チーム支援による就職率	—	—	49.8%	49.8%	46.0%
【調査名・資料出所、備考等】						
各都道府県労働局からの報告						
アウトプット指標		H17	H18	H19	H20	H21
2	「チーム支援」支援対象者数	—	—	3,568	10,442	13,801
	ハローワークにおける有効求職者数に占めるチーム支援対象者数	—	—	2.5%	7.3%	8.7%

5. 特記事項

(1) 各種計画等政府決定等の該当

① 有・無

② 具体的記載

- 重点施策実施5カ年計画「ハローワークを通じた障害者の就職件数24万件(20～24度の累計)」
http://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/5sinchoku/h19/5year_plan.pdf
- 障害者雇用対策基本方針「本人の意欲・能力に応じた一般雇用への以降を図るほか、特別支援学との卒業生の雇用を促進するため、公共職業安定所を中心とした『チーム支援』を推進する」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/shougaisha02/gaiyo/02.html>
- 福祉から雇用へ推進 5カ年計画「ハローワークと福祉施設等関係機関により編成された障害者就労支援チームによる、就職の準備段階から職場定着までの一貫した支援を展開する。」
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/seichou2/dai4/siryou3.pdf>

(2) 研究会の有無

① 有・無

② 研究会において具体的に指摘された主な内容

- 第10回福祉、教育等との連携による障害者の就労支援の推進に関する研究会
「ハローワークにおいてチーム支援を行うためには、コーディネート力を高めることが必要である。地域の各支援機関の機能に応じた役割の調整を行い、一貫した効果的な支援となるためのコーディネート力を高めることが必要である。」
<http://www.mhlw.go.jp/shingi/other.html>
- 第9回福祉、教育等との連携による障害者の就労支援の推進に関する研究会
「ハローワークの業務として、チーム支援を行っているが、そうしたチーム支援を着実に展開することが重要であり、そのためのコーディネート力を高めることが必要である」
<http://www.mhlw.go.jp/shingi/other.html>